

2022年 共通テスト

[改定] コロナ下での共通テスト 濃厚接触者などへの対応の概要

オミクロン株感染者との濃厚接触者も、要件を満たせば受験可。
条件付きでタクシーの利用を認める

旺文社 教育情報センター 2022年1月8日

1月15・16日に行われる共通テスト本番まで1週間となった。共通テストでのコロナ感染者、濃厚接触者、体調不良者などへの対応の概要を示す。

本稿は1月6日弊社配信の記事を、翌7日に文科省により公表された無症状の濃厚接触者が受験するための要件のひとつ「公共交通機関」に関する指針変更と、さらに翌8日の大学入試センターによる「コロナ感染症対策等に関するQ&A」の更新を受け、変更・更新したものです(1月6日配信記事「コロナ下での共通テスト 濃厚接触者などへの対応の概要」は削除しました)。

■無症状の濃厚接触者は要件を満たせば受験可。オミクロン株でも同様

昨年12月27日、末松文科相は記者会見で、新型コロナのオミクロン株感染者の濃厚接触者も、要件を満たせば、大学入試で受験が可能であることを発表した。前週24日、オミクロン株感染者の濃厚接触者は無症状であっても、受験を認める要件に該当しないという「通知」を発出したばかりだったが変更した。翌28日、文科省は各大学などに宛て、「コロナ対応の試験実施ガイドラインの一部再改訂」を再通知した(※)。

大学入試センターは、12月28日ホームページ上で「共通テスト受験上の注意」「コロナ感染症対策等に関するQ&A」などを更新した(※)。無症状の濃厚接触者が受験するための所定の手続きのなかに、オミクロン株感染者の濃厚接触者にはその旨の記載を求めているが、コロナ感染者・濃厚接触者・体調不良者などへの対応は、基本的には昨年と同じ。濃厚接触者と特定された場合でも「行政検査で陰性」「試験当日無症状」「公共交通機関(※)を利用せず、密を避けて試験場に行く」「別室で受験」という要件を満たせば、受験することができる。昨年の共通テストでは無症状の濃厚接触者の別室受験は、“第1日程”187人、“第2日程”4人だった。

2022年入試もコロナ禍のもとで実施となる。実際の受験に際しては、共通テストについては大学入試センターのホームページで、各大学の個別試験については大学のホームページで、各種情報の最終確認をしてほしい。

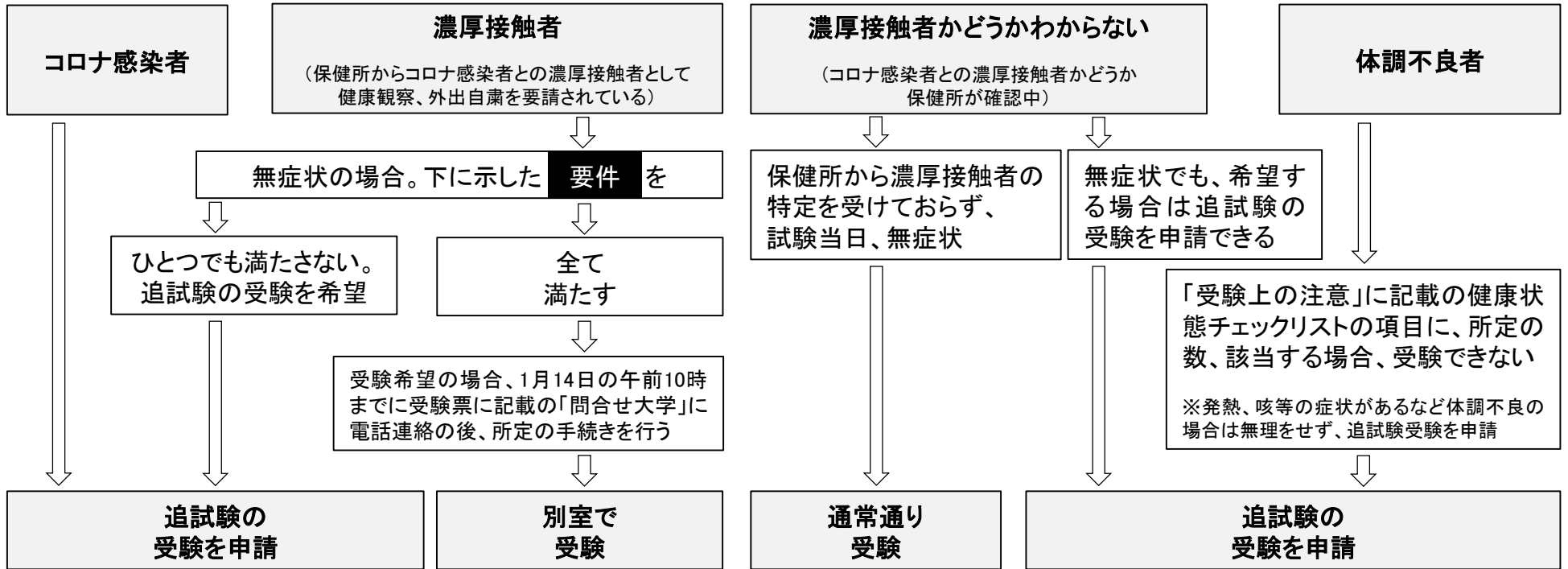
(※)1月7日文科省は、受験生の受験機会を最大限に確保するためとして、無症状の濃厚接触者が受験する際の移動手段について、条件付きでタクシー、ハイヤー、海上タクシーの利用を認める「周知」を各大学などに宛てた。翌8日、大学入試センターはホームページ上で「コロナ感染症対策等に関するQ&A」を同主旨で更新した。

(2022.1 加納)

次ページに、「[概要]改定:2022年 大学入学共通テスト。濃厚接触者、体調不良者などへの対応」を掲載。

[概要]改定:2022年 大学入学共通テスト。濃厚接触者、体調不良者などへの対応

※大学入試センターホームページの公表情報(2022年1月8日現在)を基に旺文社作成。



要件

ア: 初期スクリーニング(自治体または自治体から指示された医療機関によるPCR等の検査[行政検査])の結果、陰性。

その後の検査でも陽性だと判明していない。

※受験者が自治体(保健所)から指示されていない医療機関等で自主的にPCR等の検査を受けた結果が陰性でも、受験できない。

※初期スクリーニングの検査結果が判明するまでは受験できない。

※初期スクリーニング後の検査については、検査結果が判明していなくても受験できる。

イ: 受験当日も無症状。

ウ: 公共の交通機関(電車、バス、タクシー[※]、航空機[国内線]、旅客船等)を利用せず、人が密集する場所を避けて試験場に行く。

※業界団体の感染対策ガイドラインによる感染対策(マスク着用、アクリル板など飛沫対策、換気、助手席に座らないなど)を講じているタクシー、ハイヤー、海上タクシーは、行政検査で陰性・無症状の濃厚接触者であることを伝えた上で予約し、他の乗客と乗り合わせをしなければ利用できる(流しのタクシーは利用しないこと)。

エ: 終日、別室で受験。

!

追試験受験の申請方法、申請期間などをはじめ、受験上の注意の詳細は大学入試センターのホームページで最終確認してほしい。

※追試験＝1月29・30日実施。
※追試験の追試験は、行われない。